

そこが知りたい 国民年金

国民年金係 23 - 5500



公的年金は、なぜ必要か？

昔の日本は、家族で高齢者の暮らしを支えるのが一般的でした。しかし、こうした「私的扶養」の仕組みを維持することは、次のような社会情勢の変化によって、不可能になります。

平均寿命が飛躍的に伸びました
 「人生80年時代」と呼ばれる世界最高水準の長寿社会を実現した結果、老後の期間も世界最長になっています。

核家族化と少子化の進行
 家族形態が核家族化するとともに、兄弟姉妹も少なくなっています。

この結果、高齢者夫婦だけの世帯や高齢者の一人暮らしの世帯が増加し、老後生活を自分の子どもに頼ることが難しくなっています。

将来の経済変動の予測は困難です
 何十年か先にある老後期の物価や資産価値などの経済変動を予測することは困難です。

また、個人個人にとって何歳まで生きられるのかを予測することも困難です。

これらのことを考慮すると、個人の自助努力のみで老後の生活設計を行うことには限界があります。

公的年金は、このような状況の中で、社会全体で老後の生活を支えるために作られた制度なのです。